

第46回

中国山地日野鵜の池マラソン大会



6月8日、緑に囲まれた初夏の湖畔を駆け抜ける、第46回中国山地日野鵜の池マラソン大会(同実行委員会主催)が、鵜の池湖畔で開かれました。

当日は約340人の選手が参加。鵜の池湖畔を周回する2・3キロ、4・6キロ、6・9キロの3コースで、年齢別にクラスを分けてレースを行いました。選手たちは、家族や仲間の応援を受けながら、全力で駆け抜けていきました。

また、会場では地元団体によるみそ汁のサービスや、もちやクッキーなどの食品販売が行われ、選手やその家族らでにぎわいました。

各クラス終了後には、日野高等学校郷土芸能部の皆さんによる「荒神神楽」が披露され、会場からは大きな拍手が送られていました。



▲選手宣誓は中村泉椰さん



▲日野高校郷土芸能部による「荒神神楽」の披露





機敏な動きで競技に取り組む（西部大会）



見事三連覇を成し遂げた第1分団の皆さん（西部大会）

快挙！ 小型ポンプ操法の部で堂々の三連覇
第66回西部消防ポンプ操法大会・第71回鳥取県消防ポンプ操法大会

第66回西部消防ポンプ操法大会が、6月8日、県消防学校（米子市）で開かれ、日野町消防団（廣川光保団長）からは、第1分団が小型ポンプ操法の部に、第2分団がポンプ車操法の部にそれぞれ出場しました。

競技内容は、ポンプ車や小型ポンプを操作して、標的に向かって放水し、終了するまでの規律動作や時間を競うものです。多くの見物人が見守る中、日ごろの訓練の成果を披露し、審査の結果、第2分団はポンプ車操法の部で第6位、第1分団は小型ポンプ操法の部で、昨年に続き優勝という好成績を収め、第1分団は県大会へと出場を果たしました。

なお、7月6日に開かれた第71回鳥取県消防ポンプ操法大会（鳥取市）では、第1分団が小型ポンプ操法の部に出場しました。結果は5位でしたが、素早い動作で火点へ放水し、日ごろの訓練の成果を発揮しました。

《☆消防団員募集中！》

消防団員は、町に居住している人、または勤務している人で満18歳以上であれば入団できます。入団を希望する人は、役場総務課（電話72・0331）までお問い合わせください。



協定書を手にする岡垣代表取締役（左）と谷田町長（右）

日野川第一発電所（福長）を運営するM&C鳥取水力発電株式会社（岡垣啓司代表取締役）と町が包括的連携に関する協定を締結し、6月18日、調印式が行われました。

同協定は、観光振興や環境教育、人材育成、産業振興など、さまざまな分野で連携し、地域の活性化や住民サービスの向上を図るものです。

今後取り組む事業として、子どもたちの環境教育や、施設の見学を含めた町内観光ツアーなど、町の活性化につながるような事業が予定されています。

多分野で連携し住民サービス向上へ
M&C鳥取水力発電株式会社と町との包括的連携に関する協定調印式



力を振り絞り、元気よく走りました

6月11日、旧黒坂小学校周辺を会場に、日野学園マラソン大会が行われました。

大会は2部構成で、1年生から4年生の下級生の部、5年生から9年生の上級生の部に分かれていきます。1・2年生は800m、3・4年生は1・0km、7・9年生女子は2・2km、男子は3・0kmのコースをそれぞれ走り切りました。

子どもたちは、地域の皆さんからの「がんばれー！」という声援を受けながら全力で走り、次々とゴール。元気な姿を見せていました。

ゴールに向かって走り切れ！
日野学園マラソン大会